

1200万署名・NPT代表派遣 News

発行:原水爆禁止日本協議会 電話:03 5842 6031 FAX:03 5842 6033

Eメール antiatom55@hotmail.com 2009年12月7日 No.18 NPTまであと147日

青年のつどい
準備委員会

トラや牛の着ぐるみを着て 上野公園でROCK行動



今年と来年の干支
であるウシとトラ
の着ぐるみを着て
署名を呼びかけ

来年の5月に開かれる核不拡散条約(NPT)再検討会議に被爆国日本から100万の署名を届けようと呼びかけている「核兵器なくそう・世界青年のつどい」準備委員会は12月6日、上野公園前で「核兵器のない世界を」署名を集める「ROCK行動」を行いました。

「核兵器廃絶の署名にご協力をお願いします!!」-。快晴の空の下、休日で賑わう上野公園に青年たちの元気な声が響き渡ります。

北海道、秋田、京都、大阪、愛媛など全国から集まった青年労働者や埼玉の高校生らが交代でマイクを握り、署名への協力を呼びかけました。

展示した「原爆と人間」写真パネルには家族連れやカップルなどたくさんの方が足を止め、行動参加者と対話しながら署名に協力する姿があちこちで見られました。

この日の行動には30人以上の青年が参加。今年の干支の牛や来年の干支のトラの着ぐるみも着てアピールしたところ、1時間弱で署名107筆、3500円のカンパが寄せられました。

クリスマス買い物客で賑わう街で 北海道

北海道原水協は12月6日、クリスマスの買い物などで家族連れや友達同士と賑わう昼下がりのパルコ前で6・9行動を行いました。

広島で被爆した服部十郎さん(80)が原爆が落とされた広島の惨状を話したあと、「人類を滅亡させる悪魔の兵器、核兵器は存在してはならないです」と署名の協力を呼びかけました。

北広島原水協の浜田種樹さん、北海道原爆訴訟支援連絡会の守屋敬正さんがそれぞれ訴えました。「自分の病気を原爆症と認めてほしいと被爆者は命がけで立ち上がりました。核兵器をゼロにするのは被爆者の切なる願いです。来年の5月、核不拡散条約再検討会議に署名を積み上げましょう。」

北見から買い物に来た若い女性は、北海道に被爆者がいることにびっくりし、「長崎に友人がいるので前に署名の手伝いをしたことがありますよ」と募金しました。「国連に届ける署名です」との呼びかけに快く中学生2人が連れ立って署名しました。

町長が家族の分まで署名 山梨県身延町
日本さくらの名所百選に選ばれ、全国有数の桜の名所としてしだれ桜が有名な山梨県身延町で署名が広がっています。
国民平和大行進にも多くの人が参加している身延9条の会の吉田さんは、身延町長が「核兵器のない世界を」署名にサインをする、自身が在住している中富町・下田原地域で多くの署名を集めることで地域での前進を作ろうと計画し、2つとも達成しました。望月仁司町長は、家族の分まで署名してくれました。



最新情報はコチラ 原水協通信 blog | <http://www.antiatom.org/g-news/>
携帯電話からもアクセスできます。